



東北大学



報道機関各位

2015年5月21日  
東北大学病院

**市民公開講座「東北大学病院が取り組む脳の病気」のご案内**  
- 東北大学病院開設百周年を記念した写真展なども同時開催 -

東北大学病院は、平成27年6月7日（日）、仙台国際センター大ホールにおいて、第12回市民公開講座「東北大学病院が取り組む脳の病気」を開催します。本イベントは、一般市民への健康増進、疾病予防等に寄与することを目的として、当院が毎年2回開催しているもので、今回で第12回目となります。

今回は、東北大学病院開設百周年を記念し、パーキンソン病や多発性硬化症など、治療法が未だ確立されていない病気に対する診断や治療法の最前線をご紹介します。ゲストには、世界に誇る革新的な研究に尽力されている慶応義塾大学医学部の岡野栄之教授が登壇し、iPS細胞を用いた未来の医療についてお話頂きます。またイベントスペースでは、当院ホスピタルモールで6月1日から開催する写真展の一部を会場に展示し、市民の皆様とともに当院のこれまでの歩みを振り返ります。

つきましては市民の皆様への周知のご協力をお願い申し上げます。また、当日にご取材頂き、広く市民にお伝え頂ければ幸いです。

記

■日時：平成27年6月7日（日）13:00～15:45

■会場：仙台国際センター（仙台市青葉区青葉山無番地）

■内容・スケジュール：

13:00～ 東北大学病院 八重樫伸生 あいさつ

13:05～ 第一部 基調講演

- 1) パーキンソン病ってどんな病気？ - 診断、治療の最前線 - 神経内科 長谷川隆文 講師
- 2) 多発性硬化症という病気をご存知ですか？ - 診断と治療の進歩について -  
神経内科 中島一郎 准教授
- 3) 難病に挑む - 新規治療法開発の最前線 - 神経内科 青木正志 教授

14:20～ 第二部 記念講演

iPS細胞技術を用いた未来の医療 慶応義塾大学医学部 岡野栄之 教授

15:10～ 第三部 パネルディスカッション

大隅典子（コーディネーター）／岡野栄之／青木正志／中島一郎／長谷川隆文

イベントコーナー（12:00～16:00）

写真展「東北大学病院百年のあゆみ」、写真撮影ブース「移動写真館 hesso」、その他百周年記念事業紹介など

■申込方法：別添申込用紙にご記入の上、FAX（もしくは葉書、Eメール）にて、5月28日（木）までにお申し込みください。（当日消印有効）

※ご取材の際は、事前に下記お問い合わせ先までご連絡下さいますようお願いいたします。

本件に関するお問い合わせ先  
（報道担当）東北大学病院広報室  
電話番号：022-717-7149  
FAX 番号：022-717-8931